

館報  
いりやま

平成 27 年 9 月 1 日 現在

世帯数	893 戸
男	1,024 人
女	1,094 人
総人口	2,118 人

## 平成 27 年度 市政まちかどトーク開催される



8月4日(火)に入山辺公民館で菅谷松本市長をはじめ理事者が出席の中、市政まちかどトークが開催された。

「何がわり何が解決したか」平成 23 年に入山辺地区のまちかどトークが開催された。当時の様子を振りかえってみたい。  
主な地域課題は以下の 3 点であった。

①有害鳥獣被害対策と荒廃農地有効利用

②災害時の情報伝達と救出方法

③「地域密着型サービス」の整備及び促進

まちかどトークで出された課題を取り組むために市と入山辺地区が連携して、その年の 11 月に、「入山辺地区の将来ビジョンを考える会」が発足した。全市に先駆けて一つのモデルになるような住民による地域づくりを考え進めようと「こんな山辺にするじゃん会」(愛称)を立ち上げて住民の創意ある取り組みが始まった。

有害鳥獣対策では入山辺地区全域に鹿柵が住民の力により設置された。しかし、農地と山林の荒廃は目を覆いたくなる状況である。

地区内に認知症高齢者対応の施設が本年 3 月に実現した。



### 「希望はどこに」

平成 27 年度まちかどトークは、増澤連合町会長より現状認識の大きな状況が報告され、提案説明にはいった。

今回、出された主な課題は以下の 2 点とフリートークの中で出された 3 点である。フリートークの内容は割愛させていただきます。

①入山辺地区の人口維持と豊かな自然を活かした地域活性化について

②中山間地における交通弱者対策について

依然として入山辺地区の人口は減り続けている。平成 23 年 7 月 1 日の人口は 2253 人、平成 27 年 7 月 1 日の人口は 2118 人である。この 4 年で 140 人弱の減少である。

同時に高齢化はますます進行している。

土地の住宅地開発が可能なように適応が緩和されるようであるが、今後の課題は多いと思われる。

本当に、住宅が建てられるようになる事で、入山辺地区に住もうとする人が増えるのだろうか?との問題提起もあった。ここに住もうと思えるような魅力にあふれた地域づくりが求められる。

住民の足を守る地域交通システムの確立についてはすぐに良い案は出ないので研究課題である。しかし、車が運転できなくなれば、この地では死活問題である。

基本的に抱える地域課題は解決どころか、ますます深刻化していることには変わりはない。

菅谷市長の発言から全国的にみて「この超少子高齢型人口減少社会はいろいろな対策をしても、人口は増えにくい。地域から人は減り続ける。覚悟を決めて、受け入れてやるしかない。」

松本市では早くから、超少子高齢型人口減少社会を見越した政策が取り組まれていた。

一つの自治体でできることは限られる。国全体の最重要課題であるといわれながらも、なかなか対策が追い付いていない。

少子化の問題は日本人(国)の価値観が変わってきた中で、人々の意識や価値観も大きく変化してきている。激動している時代に何ができるだろうか?とむなしさを覚えてしまふ。手をこまねいてみているだけではこの国の未来がない。

希望の明かりをどこに求めてよいのだろうか。

前回の「市政まちかどトーク」以降、この 4 年間で入山辺の現状を共有することから出発した、自主的な想像ある取り組みの実践の先にきつと未来があると信じていた。

最後に、坪田副市長の発言より「下を向いてはいけない、上を向こう、あきらめるな。」(館報編集委員長 朝倉康直)



### 地域の文化資産を 知ろう講座開催

昨年発刊した、「入山辺文化誌」を活用した歴史文化講座を今年度も開催いたします。

第一回は、千手の観音堂、薬師堂の見学を、8月23日(日)に行いました。その昔は、筑摩三十三番観音札所の四番「洞水寺(とうすいじ)」として県内外から大勢の信者が訪れたそうです。現在は観音堂(北向)が建ち、中に「清水式千手十一面観音立像」が祀られています。普段は見ることのできない観音様ですが、地元の加納光敏さんの説明でじっくり拝観することができました。



観音堂の横には、長野県天然記念物の「千手のイチョウ」がそびえ立っています。樹齢千年以上の巨木ですが、樹勢の衰えが激しく、平成7年に回復手術を施し延命を図っています。また、観音堂の傍ら

にある地蔵様は、明和7年(1770)の銘があり、高遠の有名な石工「孫エ門」の作だそうです。



「地域の文化資産を知ろう講座」は今後4回予定しています。地域の歴史や文化資産を知る絶好の機会ですので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

### 第28回 親子ひろば

7月18日(土)に親子ひろばが開催されました。

子ども会育成会のイベントでは、初めてフロアホッケーを行いました。スティックを使ってパックをパスしたり、シュートの練習をして、最後に試合をしました。一つのパックをみんなで群がって取り合う姿はとても健気で、子ども達の仲の良さが伝わってきました。



また、恒例の魚のつかみ取りですが、今年はイワナを加えました。大人にはジグマスとイワナの違いがわかって、子ども達には難しかったようです。これからも見て、知って、そして体験して、色々なことを学んでもらえたら嬉しいですね。

実行委員会形式で開催している親子ひろばですが、毎年、JA入山辺支所をはじめとする各種団体の皆さまのご協力によって盛大に開催できますことに、改めて御礼申し上げます。

### 音楽会でがんばったこと



山辺小4年 ちせ 鶴田

私は、音楽会のクラス発表でシング・シング・シングをえんそうしました。私は、最初は、ピアノでしたが、テナーオルガンに変わって、テナーオルガンの仲間とがんばって練習をつみ重ねてきました。家でもたくさん練習をして暗ぶしたら、ものすごい速さでひけるようになりました。クラスの練習もうまくなって行き、とことろで、ふりを入れて、最後にはスウィングをしました。金管や学年がっしょうもがんばりましたが、クラス発表は、クラスのみんなものりで、すごく楽しかったです。そして本番は、練習のせいかが出たのでよかったです！  
まだまだできないところもありますが、お母さんたちからもアンコールが来ているので、また練習をがんばり、勉強にもせんねんしたいです。



### 入山辺公民館より

#### 第88回入山辺地区 大運動会のお知らせ

多くの人とふれあいながら日頃の運動不足解消と、地域の連帯感を高めましよう！

【日時】10月18日(日)  
午前8時から

【場所】入山辺運動広場

※午前6時15分、6時35分に実施会図の花火を打ち上げます。

競技種目などについては、各世帯に配布されるプログラムをご覧ください。

#### 第39回入山辺地区文化祭 作品出展者・ ステージ発表者募集

【日時】11月1日(日)  
午前8時30分から

【場所】入山辺公民館  
当日、展示作品の出品やステージ発表をしていただける方を大募集しています。

ぜひこの機会に、日頃の活動の成果を最大限に発揮してみませんか。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

お申し込みは入山辺公民館(☎32・1389)まで。

